

# 第45期 上半期報告書

2013年4月1日～2013年9月30日

SAISON  
INFORMATION  
SYSTEMS  
CO.,LTD.

株式会社 セゾン情報システムズ

証券コード：9640

未来へ導くチカラ  
Power of leading you to future.



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
また、平素より当社の経営に多大なるご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第45期上半期（2013年4月1日～9月30日）の業績と中期経営計画の進捗状況についてご報告申し上げます。

2013年11月

代表取締役社長 **宮野 隆**

### 当上期のポイント

#### 業績は増収減益だが、 期初計画通りの数値を達成

バランスよく展開する事業特性を活かし、当上半期の連結業績はほぼ計画通り

#### 事業基盤の拡大に直結する エンドユーザー指向を継続

新規開拓顧客数を順調に伸ばすとともに、新マーケットの開拓も推進

#### 存在価値の高い企業に 向けた取り組みに注力

これまで整備してきた基盤を活用した、商品・サービスの強化において実績が出てきている

### ■ 当上半期の事業環境と業績についてお聞かせください。

日本経済の緩やかな回復に合わせて、企業のIT投資の回復も期待されつつある情報サービス業界にあって、当社グループは、情報処理サービス、システム開発、パッケージ販売の3分野をバランスよく展開する事業特性を活かし、新規顧客の獲得、各事業間のシナジーによる既存顧客との取引拡大を通じた、着実な企業成長を指向しています。経年の増収増益基調によって生まれた「緩み」に対する意識の変革も進みつつあり、当上半期の連結業績は、売上高16,198百万円、営業利益1,058百万円、四半期純利益610百万円と、増収減益ではあるものの、期初の計画通りの数値を計上することができました。

### ■ 次なる成長に向け、今後の取り組みについてお聞かせください。

事業別に課題は残しつつも、全社としては新規顧客数も増え、営業力が増してきました。新たな商品・サービスの創出についても着実な立ち上がりを見せていると認識しています。また、社員の資格取得率も高まる等、人材育成も順調に進んでいます。しかし、中期経営計画のビジョン「存在価値の高い企業へ」の実現には、さらなる「存在価値の向上」が必要です。そのためには、一層の商品強化・サービス向上が重要になります。

流通サービスシステム事業では、プログラム自動生成の高速開発ツール「GeneXus\*（ジェネクス）」とクラウド型ホスティングサービスの「SAISOS\*（サイソス）」とを組み合わせた高速開発ソリューションの実績を上げることができました。こうした動きをさらに加速させて

いきたいと考えています。

HULFT事業では、業界シェアNo.1を誇るファイル転送ミドルウェア「HULFT※（ハルフト）」と相互補完的な関係にあるデータ連携ソフトウェアを展開する株式会社アプレッソとの資本業務提携により、これまで以上にデータ連携ソリューションに注力してまいります。この他社の追随を許さない圧倒的な体制により、さらに広範な業種・業態のお客様に価値あるソリューションを提供していく構えです。

BPO事業は、品質の改善、生産性・サービスレベルの向上に向け、今後の事業展開の基盤となる次期「Bulas※（ビューラス）」の設計・開発も進めており、年度内に新たな基盤の再構築を完成させたいと考えています。

また、金融システム事業についても、数年来従事している大型システム開発案件完了後の維持・運用フェーズにおいて継続的にサービス提供できるようカバー領域を広げ、受注範囲の拡大を図っています。

今後もIT業界の変化に対応しながらエンドユーザー指向という当社の特長を活かし、お客様との対話の中からニーズをくみ上げ顧客領域を拡大することで、さらに存在価値の高い企業へと飛躍していきたいと考えています。

## ■ 株主の皆様へメッセージをお願いします。

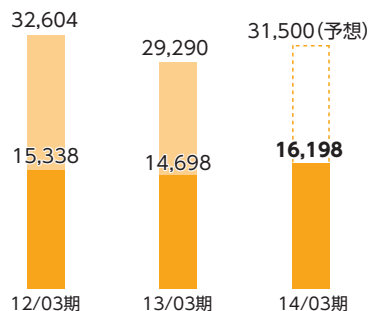
現在、①新規顧客の開拓、②安定収入につながる新しい商品・サービスの開発、③人材育成の3つを通じて事業成長を指向しています。この3つをベースに、全体を総合し、いかに最大限の効果を引き出す経営をしていくか、これがマネジメントに課せられた使命だと強く認識しています。

なお、中間配当金につきましては、当初予定通り1株当たり10円とさせていただきます。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

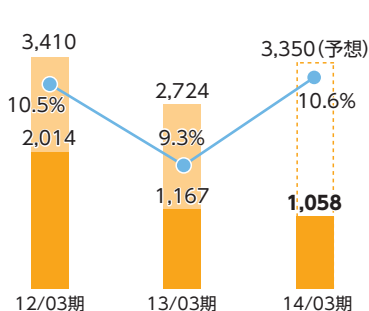


● 通期 ● 4～9月期

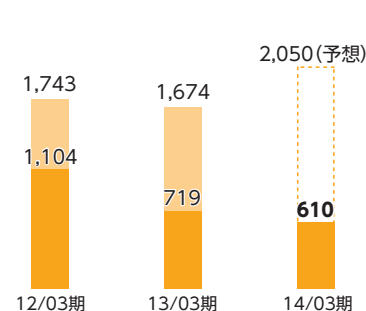
■ 売上高 (百万円)



■ 営業利益 (百万円) ● 売上高営業利益率



■ 四半期純利益 (百万円)



※「GeneXus」はプログラムコードを自動生成する開発ツールで、ウルグアイ ARTech（アルテッチ）社の登録商標です。

※「SAISOS」は当社のクラウド型ホスティングサービスです。

※「HULFT」は当社のファイル転送パッケージ製品です。

※「Bulas」はBPO事業で提供している給与計算や勤怠管理のサービスです。

※P14の用語解説をご覧ください。

## 事業紹介



私たちの暮らしを支える  
セゾン情報システムズ

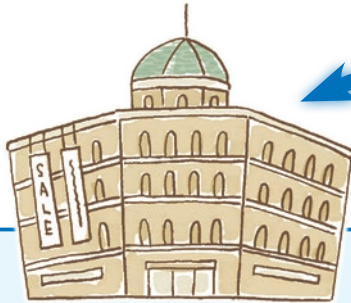
より詳細な事業内容は、当社ウェブサイトに掲載しております。  
是非ご覧ください。

<http://home.saison.co.jp/ir/privateinvestor/index.html>

※右 QRコードからもアクセスいただけます。



当社が展開している4つの事業(金融システム、流通サービスシステム、BPO、HULFT)のサービスが日常の様々なシーンで活用されています。ここでは、その一例をご紹介します。



データセンター

お客様の業務に必要なデータをお預かりし、運用管理等のサービス提供を通じてお客様の負荷を削減しています。

デパートで

クレジットカードでのお支払いを処理するシステムを提供しています。



今度の旅行に着て行こう

お店で陳列されている商品の発注処理や在庫を管理するシステムを提供しています。

売れてるなあ。  
追加発注しておこう



金融システム事業

流通サービスシステム事業



## 銀行で

お給料の振込額を確認しておこう



各地に設置されているATMのシステムを一括更新する仕組みを提供しています。

**HULFT事業**

皆様の給与計算を代行しております。また、給与明細を携帯電話・スマートフォンに配信するサービスを提供しています。

**BPO事業**



## オフィスで

支店のシステムにデータを送ろう

企業内のデータのやり取りを円滑に行う製品を提供しています。

**HULFT事業**



インターネットを経由して人事への申請を行うシステムを提供しています。

**BPO事業**

通勤手当を申請しなくちゃ



# セグメント別の状況

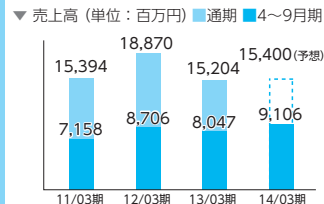
\*掲載されている4つのセグメントの合算額と全社の業績値は、別途「その他調整等」があるため一致いたしません。

## 金融システム事業

売上 **91億円**  
(前年同期比+13.2%)

利益 **1億円**  
(前年同期比△64.2%)

- 「SAISOS<sup>※</sup>（サイソス）」をはじめとする情報処理サービス、システム開発が堅調に推移し、売上は増加しました
- 収益性の低いシステム開発案件があり、利益額は減少しました

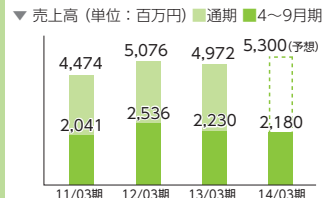


## 流通サービスシステム事業

売上 **21億円**  
(前年同期比△2.2%)

利益 **△0.7億円**  
(前年同期は△0.6億円)

- 新規顧客獲得および既存顧客向けのシステムが堅調に推移したものの、情報処理サービスが減少したことにより、売上は減少しました
- システム開発の利益は増加したものの、情報処理サービスの利益減を補いきれず、利益は減少しました

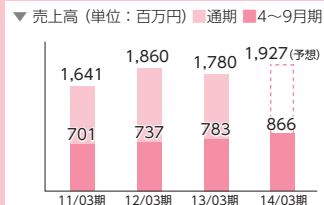


## BPO事業

売上 **8億円**  
(前年同期比+10.6%)

利益 **△2億円**  
(前年同期は△1.3億円)

- 「Bulas Payslip Mobile<sup>※</sup>（ビューラスペイスリップモバイル）」の拡販と既存顧客向けのシステム開発案件が堅調に推移し、売上は増加しました
- 情報処理サービスの運用コストや品質改善コストの増加により、利益は減少しました

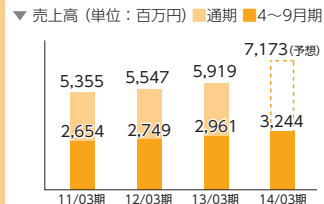


## HULFT事業

売上 **32億円**  
(前年同期比+9.6%)

利益 **12億円**  
(前年同期比△11.5%)

- 「HULFT<sup>※</sup>（ハルフト）」の累計出荷数は、約158,000本となり、導入社数は7,600社を超えました
- 保守サービスの堅調な推移と（株）アプレッソの業績が寄与し、売上は増加しました
- （株）アプレッソに係るのれんの償却等、コストの増加により、利益は減少しました



※「SAISOS」は当社のクラウド型ホスティングサービスです。

※「Bulas Payslip Mobile」は、インターネットを利用して社員への給与明細を配信するサービスです。

※「HULFT」は当社のファイル転送パッケージ製品です。

※P14の用語解説をご覧ください。

## ◆ 高速開発ソリューションを展開開始 ◆

当社は、アイウェアブランド「JINS」の展開を通じて人々のライフスタイルにイノベーションを起こし続ける株式会社ジェイアイエヌ様の基幹システム開発を請け負い、6月から本格稼働を開始しました。

## ▶▶ポイント1.▶▶業務改善を実現

ジェイアイエヌ様は、2010年に80弱であった店舗数が、2013年には200店を突破するなど、急成長を遂げていらっしゃいます。事業規模の急拡大に伴い、既存のシステムでは機能と性能が足りなくなり、受発注業務が滞る状態となっていました。当社では、お客様の業務の仕組みを根本からヒアリングし、最適なシステムを設計・開発することによって業務改善を実現しました。稼働開始後も、よりよいシステムになるよう改良を続けています。

## ▶▶ポイント2.▶▶短納期に対応した高速開発ソリューション

事業の急成長に対応するために、システムの開発期間をできるだけ短くする必要がありました。当社が取り扱う高速開発ツール「GeneXus<sup>※</sup>（ジェネクス）」とクラウド型ホスティングサービス「SAISOS<sup>※</sup>（サイソス）」を用い、当社の流通小売業のノウハウを組み合わせることで、通常1年程度要する開発期間を8か月に短縮し、お客様の要望に対応しました。

当社では、ジェイアイエヌ様のシステム導入を皮切りに、お客様のニーズに応えるべく、「高速開発ソリューション」の展開を図っております。

## システム導入ニーズ

低コスト・短期間で  
導入できること

自社オリジナルの  
業務を組み込むこと

社会や市場の変化に  
柔軟に対応できること



## 効果・メリット

コストダウン 実現!

短納期構築 実現!

オリジナリティ 実現!

品質強化 実現!

高メンテナンス性 実現!

※商品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。

※より詳しい事例は、当社ウェブサイトに掲載しております。右のQRコードもしくは以下のURLからアクセスいただけます。

(URL : <http://home.saison.co.jp/products/retailer/example02.html>)



※「GeneXus」はプログラムのコードを自動で生成する開発ツールです。

※「SAISOS」は当社のクラウド型ホスティングサービスです。

※P14の用語解説をご覧ください。

# “安全で高品質な運用をご提供すること”

ーこれが、当社の4事業を支えるシステムサービスセンターの使命です。

これまで培ったシステム運用の実績・ノウハウを集結し、最新鋭の「データセンター」で運用サービスをご提供しています。

### データセンターとは

お客様の重要なシステム機器をお預かりし、24時間365日にわたり安全・確実に運用する施設です。当社では、この運用サービスを「システムサービスセンター」が担っています。



## 位置づけ

システムサービスセンターでは、お客様からお預かりしたシステムや当社が提供するITサービスを、お客様・事業部に代わって安心・安全に運用しています。まさに事業の屋台骨の存在です。

### 特長1▶強固なセキュリティ

24時間365日の有人受付、非接触型ICカード、生体認証システム、共連れ防止ゲート、監視カメラなど、多段階のセキュリティシステムを導入しています。



共連れを防止する  
サークルゲート⇄

⇄スピードゲート  
入室にはICカード  
認証が必要



生体認証機能

## システムサービスセンターが手掛ける システムマネジメントサービス

### ハウジング・ホスティングサービス

当社のデータセンターでお客様のシステムをお預かりするサービスです。お客様資産のサーバをお預かりするだけでなく、利用型サービスとしてご提供することも可能です。

### カスタマーサポートサービス

お客様システムのさまざまなお問合せを一括で受け、お客様に代わって迅速に問題解決を行う窓口機能を提供しています。

### 統合監視サービス

お客様システムの稼働状況を集中監視センターにて監視します。障害時対応・定期オペレーションなど24時間365日体制でサポートします。

### ディザスタリカバリサービス

万が一の災害・障害に備え、遠隔地でのデータバックアップや、システムの二重化を提供しています。

### 他、充実のサービス群

保守期間が終了したハードウェアをメーカーに代わって延長保守する「ハードウェア延長保守サービス」、豊富な実績・ノウハウを活かした「サーバー移設サービス」・「ネットワーク構築・運用サービス」など、お客様のご要望に応じたサービスを各種取り揃えています。

## 特長2▶堅牢なファシリティ

地震、停電、火災...突然の災害から  
もシステムを守る必要があります。  
地震対策として、建物は最新の免震  
構造を採用しており、震度7クラスの  
地震に耐えうる設計となっています。  
また、非常時の停電に備え、冗長化  
された無停電電源装置・自家発電装  
置を装備しています。その他、省エ  
ネルギー効果の高い空調冷却設  
備、火災による被害を最小限に  
抑える消火システムなど、シス  
テムサービスセンターでは環境  
にも配慮した最新式の設備を導  
入しております。



↑非常用発電機



↑最新のビル免震装置

## 特長3▶設計から運用まで一貫通貫のサービス

お客様のご要望に合わせて、システム設計・開発から  
監視運用まで、一貫したサービスを提供しております。  
また、通信回線やサーバー機器も、特定のベンダーに依  
存せず、お客様に最適なものをご利用いただけます。

以上の特長により、システムサービスセンターは24時  
間365日、お客様と当社の事業を支えています。

システムマネジメントサービスの詳しい情報は当  
社ウェブサイトに掲載しております。「セゾン情  
報 データセンター」で検索するか、右のQR  
コード、もしくは以下のURLからアクセスいた  
だけます。

[http://home.saison.co.jp/products/center\\_management\\_service/index.html](http://home.saison.co.jp/products/center_management_service/index.html)



## システムサービスセンターのメンバーをご紹介します！

### 取締役 システムサービスセンター長 水江 司二

システムサービスセンターは、お  
客様の大切なシステム、データをお  
預かりする拠点です。高品質で安定  
性の高い運用を実現できるよう、メ  
ンバー一丸で努力をしております。  
当センターの強みは、当社の各事業  
部との連携によって、アプリケーショ  
ンの開発から運用まで一貫通貫でお客  
様に提供できることです。今後も、お客様の企業運営に不  
可欠な存在として選んでいただける、競争力のある運用  
サービスを提供したいと考えており、そのために、OSな  
どの基盤系の技術力を高めるとともに、お客様目線で  
サービスを提供できるセンターでありたいと考えており  
ます。



### システムサービス部 小酒井 崇史

現在はお客様よりお預かりしてい  
るシステムが正常に稼働しているか  
監視する業務に従事しています。24  
時間365日止められないシステムを  
扱っていますので、障害の予兆を検  
知する仕組みをつくり、システムの  
パフォーマンスが維持されるように  
努めています。異常が発見された場合にはチェックリス  
トによって、丁寧に原因を追究して対処を行うとともに、  
チームメンバーと情報を共有し、主担当が不在でも対応  
できるようにしています。今後もお客様に満足してい  
ただけるサービスを提供したいと考えております。

#### 取得資格

- ・ORACLE MASTER Platinum Oracle Database 10g/11g  
(データベースに関する資格)
- ・LPICレベル3 (Linux技術者認定資格)
- ・ITIL V3 Foundation (システム運用・管理に関する資格)



## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

|               | 当第2四半期末<br>(2013年9月30日現在) | 前期末<br>(2013年3月31日現在) |
|---------------|---------------------------|-----------------------|
| <b>◇資産の部</b>  |                           |                       |
| 流動資産          | 16,057                    | 13,845                |
| 固定資産          | 10,423                    | 11,221                |
| 有形固定資産        | 3,381                     | 3,675                 |
| 無形固定資産        | 4,219                     | 4,328                 |
| 投資その他の資産      | 2,822                     | 3,216                 |
| 資産合計          | 26,480                    | 25,066                |
| <b>◇負債の部</b>  |                           |                       |
| 流動負債          | 8,248                     | 6,703                 |
| 固定負債          | 1,871                     | 2,202                 |
| 負債合計          | 10,119                    | 8,906                 |
| <b>◇純資産の部</b> |                           |                       |
| 株主資本          | 16,242                    | 16,037                |
| 資本金           | 1,367                     | 1,367                 |
| 資本剰余金         | 1,462                     | 1,462                 |
| 利益剰余金         | 13,413                    | 13,207                |
| その他の包括利益累計額   | 97                        | 70                    |
| その他有価証券評価差額金  | 87                        | 67                    |
| 為替換算調整勘定      | 9                         | 2                     |
| 少数株主持分        | 20                        | 52                    |
| 純資産合計         | 16,361                    | 16,160                |
| 負債および純資産合計    | 26,480                    | 25,066                |

### 資産の部

#### ■ 流動資産

大型開発案件の完成等により、受取手形及び売掛金が1,790百万円増加しました。

#### ■ 固定資産

設備の減価償却や、一部事務所の解約に伴う敷金の減少により、797百万円減少しました。

以上を主な要因として、1,414百万円増加しました。

### 負債の部

#### ■ 流動負債

買掛金の増加等により、1,545百万円増加しました。

#### ■ 固定負債

リース債務や退職給付引当金の減少等により、331百万円減少しました。

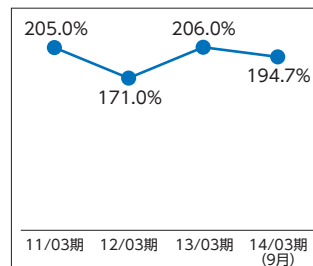
以上を主な要因として、1,213百万円増加しました。

### 純資産の部

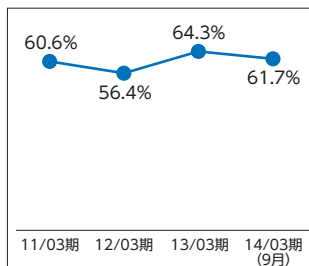
四半期純利益の計上で610百万円増加し、配当財源への割り当てにより利益剰余金が404百万円減少した結果、純資産は200百万円増加しました。

## 〈安全性を示す経営指標〉

流動比率



自己資本比率



連結貸借対照表から読み取ることのできる安全性を示す経営指標をご紹介します。

### 流動比率（短期的な支払能力を示す指標）

支払が必要な負債のほぼ2倍の流動資産を保有しており、安全性は高い状態です。

### 自己資本比率

（返済不要である自己資本の総資本に対する割合）

借入金などの有利子負債はなく、安全性の高い状態を維持しています。

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

|              | 当第2四半期<br>(2013年4月 1日～<br>2013年9月30日) | 前第2四半期<br>(2012年4月 1日～<br>2012年9月30日) |
|--------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 売上高          | 16,198                                | 14,698                                |
| 売上原価         | 12,936                                | 11,718                                |
| 売上総利益        | 3,262                                 | 2,979                                 |
| 販売費及び一般管理費   | 2,204                                 | 1,812                                 |
| 営業利益         | 1,058                                 | 1,167                                 |
| 営業外収益        | 54                                    | 23                                    |
| 営業外費用        | 22                                    | 15                                    |
| 経常利益         | 1,090                                 | 1,175                                 |
| 特別利益         | —                                     | 24                                    |
| 特別損失         | 13                                    | 2                                     |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,076                                 | 1,197                                 |
| 法人税等         | 465                                   | 478                                   |
| 四半期純利益       | 610                                   | 719                                   |

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

|                  | 当第2四半期<br>(2013年4月 1日～<br>2013年9月30日) | 前第2四半期<br>(2012年4月 1日～<br>2012年9月30日) |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,415                                 | 1,124                                 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △624                                  | △522                                  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △639                                  | △609                                  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 4                                     | △0                                    |
| 現金及び現金同等物の増減額    | 156                                   | △7                                    |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 7,489                                 | 5,351                                 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,645                                 | 5,343                                 |

### ■ 売上高

情報処理サービス、システム開発の売上が堅調に推移し、16,198百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

### ■ 営業利益

金融システム事業において、収益性の低いシステム開発案件の割合が高かったことにより、1,058百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

### ■ 四半期純利益

一部事務所の解約により固定資産の処分損が発生したこと等で、610百万円（前年同期比15.2%減）となりました。

### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、税金等調整前四半期純利益1,076百万円を計上したことなどにより、得られた資金は1,415百万円（前年同期比25.9%増）となりました。

### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

「SAISOS※（サイソス）」関連の設備投資等により、投資活動に使用した資金は624百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

### ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金を支出したこと等により、財務活動に使用した資金は639百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

※「SAISOS」は当社のクラウド型ホスティングサービスです。

※P14の用語解説をご覧ください。

## 株主スクエア 第44期年次報告書「株主様アンケート」集計結果

第44期年次報告書送付の際に実施いたしました「株主様アンケート」にて、多くの株主様からご回答をいただきました。厚くお礼申し上げます。ここではアンケートの調査結果（抜粋）をご報告するとともに、代表的なご質問・ご要望をご紹介します。

**アンケート調査結果**（回答数……2,667件 回答率……69.6%）

### 当社株式の保有期間

|              |       |
|--------------|-------|
| 1年未満 .....   | 49.5% |
| 1～2年未満 ..... | 28.3% |
| 2～3年未満 ..... | 6.8%  |
| 3年以上 .....   | 15.0% |

### 今後の当社株式保有のご予定

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 1年以上継続して保有 .....       | 72.5% |
| 買い増し .....             | 17.4% |
| 1年以内に売却（一部または全部） ..... | 1.5%  |
| 未定 .....               | 10.8% |

今後の当社株式保有のご予定では「1年以上継続して保有」「買い増し」で全体の90%となりました。  
「当社株式の保有理由」は配当利回りや安定性を全体の3分の1以上の方が挙げられていました。

### 第44期年次報告書で興味を持たれた項目

|                           | (複数回答) |
|---------------------------|--------|
| 回答が多かった5項目                |        |
| 1. 配当政策 .....             | 38.5%  |
| 2. トップインタビュー .....        | 31.5%  |
| 3. 財務情報 .....             | 29.4%  |
| 4. 事業紹介 .....             | 28.3%  |
| 5. シリーズ特集（金融システム事業） ..... | 23.9%  |

### 第44期年次報告書でわかりにくかった項目

|                           | (複数回答) |
|---------------------------|--------|
| 回答が多かった5項目                |        |
| 1. 記入なし .....             | 26.5%  |
| 2. 財務情報 .....             | 17.0%  |
| 3. シリーズ特集（金融システム事業） ..... | 14.7%  |
| 4. セグメント別の状況 .....        | 12.6%  |
| 5. トピックス .....            | 10.0%  |

「第44期年次報告書で興味を持たれた項目」については、「配当政策」が38.5%となり、株主還元に対する関心の高さがうかがえます。「配当の考え方」を知りたいとのコメントも多くいただいておりますので、右ページにて解説しております。他にも、多くのご質問をいただいた「成長戦略」「社員の仕事の内容」について、右ページに解説を掲載いたしました。

また、「第44期年次報告書でわかりにくかった項目」として、「財務情報」を17.0%の方が挙げていらっしゃいましたので、財務諸表のレイアウトを見直しております。今後も一層わかりやすい情報提供を通じて、株主の皆様にも末永くご愛顧いただけるよう努めてまいります。

## 株主の皆様から多く寄せられたご質問を解説します

**Q.** 今後、どのような事業計画や成長戦略を描いているのか、これからどのように業績を伸ばすのか教えてください。

当第45期は、現在の中期経営計画の最終年であり、これからの成長を描いた次期中期経営計画は、当社ウェブサイトや、来年6月発行の年次報告書にてご紹介する予定です。今回は、経営の考え方をトップインタビューにて掲載しております (P.1)。



**Q.** 社員のみなさんがどのような仕事をされているのかもっと知りたいです。普段は表に出ないような仕事についても興味があります。

各部門の業務の内容がわかるよう、ご紹介しております。今回は特に各事業のデータ管理・運用を裏方で担当している、システムサービスセンターをご紹介しました (P.7)。また、過去に掲載した各事業部は当社ウェブサイトに掲載しておりますので、是非ご覧ください。



**Q.** 配当に関する考え方をお教えてください。また、株主優待制度はないのでしょうか。

当社では、株主優待制度は設けておりませんが、株主の皆様への利益還元を重要政策と位置づけ、業績が配当に直結する「業績との連動性の強化」と一定の配当を維持する「安定配当」の両立を目指しております。詳細は「配当政策」(P.13) をご覧ください。



アンケートはがきを同封しております。2014年2月26日までにアンケートのすべての項目に回答を記入し、返送いただいた方には、Quoカード500円分を進呈いたします。当社は、今後も株主様との対話を重視し、貴重なご意見をIR活動（投資家向け広報活動）に活かしていきたいと考えておりますので、ご協力のほど、お願い申し上げます。

※Quoカードの発送には、お時間をいただくこともございますのでご了承ください。

## ■ 配当政策

当社では、収益の向上が株主の皆様への利益還元につながる業績との連動性強化と、万一業績が悪化しても一定の配当水準を維持する安定配当の両立を図りたいと考えております。その考えのもと、利益配分に関しては以下の基本方針を掲げております。

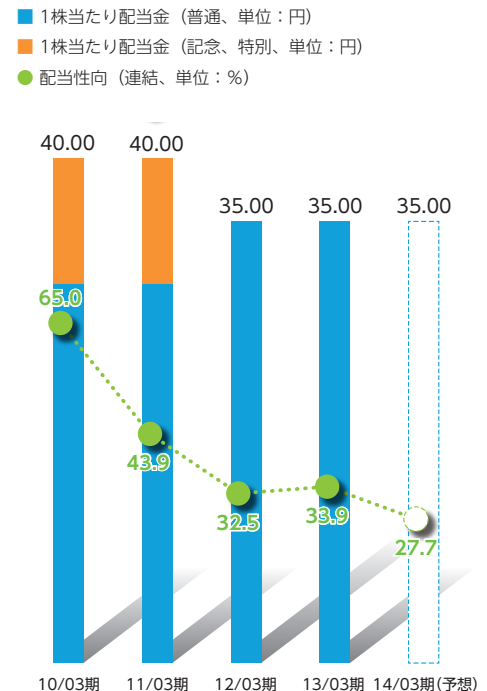
### 当社の配当に関する基本方針

- **業績との連動性強化**
  - ・ 連結当期純利益の3割前後を目安に配当を確保いたします。
- **安定配当**
  - ・ 万一の業績悪化時にも、1株当たり10円の配当金を維持するよう努めております。
- **中間配当について**
  - ・ 業績連動型の配当方針をとっているため、通期の業績が確定してから配当額を決定しておりましたが、より株主の皆様へ利益還元できるよう、2012年3月期より安定配当部分の10円を中間配当として実施いたしております。

### 配当性向の変化についての補足

- 2013年3月期は、利益水準、財務状況、株主の皆様への利益還元などを総合的に勘案し、年間の普通配当を1株当たり35円といたしました。
- 2011年3月期は、業績が好調であったことから、1株当たり10円の特別配当を実施いたしました。これにより、1株当たりの配当は普通配当を加えた40円となりました。
- 2010年3月期の配当性向が近年では非常に高いものとなっております。これは次の2つの要因によるものです。
  - ① 2010年、創立40周年を迎えたことを記念し、1株当たり10円の記念配当を実施したこと。
  - ② 2010年3月期は新センターへの投資に伴う特別損失によって、当期純利益が大幅に下がったものの、例年並の配当30円を維持したこと。

### 1株当たり配当金/配当性向の推移



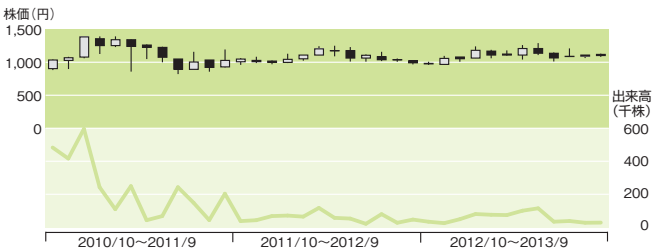
株式の状況

発行可能株式総数 60,000,000株  
発行済株式の総数 16,200,000株  
株主数 4,543名

大株主(上位10名)

| 株主名                                       | 当社への出資状況    |             |
|-------------------------------------------|-------------|-------------|
|                                           | 持株数<br>(千株) | 持株比率<br>(%) |
| 株式会社クレディセゾン                               | 7,588       | 46.83       |
| ロイヤルバンク オブ カナダ トラスト<br>カンパニー (ケイマン) リミテッド | 4,488       | 27.70       |
| セゾン情報システムズ社員持株会                           | 611         | 3.78        |
| 株式会社インテリジェントウェイブ                          | 500         | 3.08        |
| 大日本印刷株式会社                                 | 307         | 1.89        |
| 有限会社福田製作所                                 | 200         | 1.23        |
| 株式会社みずほ銀行                                 | 196         | 1.20        |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行                             | 80          | 0.49        |
| 富士通株式会社                                   | 80          | 0.49        |
| 協和青果株式会社                                  | 67          | 0.41        |

株価・売買高の推移



所有者別分布状況

株式分布状況

| 株主       | 千株    | %     |
|----------|-------|-------|
| 金融機関     | 460   | 2.84  |
| 証券会社     | 36    | 0.22  |
| その他の国内法人 | 8,778 | 54.18 |
| 外国法人等    | 4,640 | 28.64 |
| 個人その他    | 2,283 | 14.09 |

株主数分布状況

| 株主       | 名     | %     |
|----------|-------|-------|
| 金融機関     | 9     | 0.19  |
| 証券会社     | 14    | 0.22  |
| その他の国内法人 | 30    | 0.66  |
| 外国法人等    | 41    | 0.90  |
| 個人その他    | 4,448 | 97.90 |

◇用語解説 ～よく使われる用語をピックアップしました～

|                                           |                                                                                                   |
|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| BPO<br>(ビーピーオー)                           | Business Process Outsourcingの略で、企業が自社の業務処理を外部に委託することを指します。当社では人事業務にかかわる業務を受託しています。                |
| Bulas (ビューラス)                             | BPO事業で提供している、給与計算や勤怠管理のサービスです。                                                                    |
| Bulas Payslip Mobile<br>(ビューラスペイスリップモバイル) | インターネット経由で給与明細を社員に配信するサービスです。                                                                     |
| HULFT<br>(ハルフト)                           | システム間でデータをやり取りする際のファイル転送を実行するパッケージ製品です。WindowsやUNIX (ユニックス) といった、異なるプラットフォーム間でもデータのやり取りを可能にしています。 |
| SAISOS<br>(サイソス)                          | 当社が提供するクラウド型ホスティングサービスです。お客様のデータ等を当社でお預かりし、お客様は自前の設備を持つことなく、サービスを提供することができます。                     |

## 会社概要

商 号 株式会社セゾン情報システムズ  
SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD.  
設立年月日 1970年9月1日  
資 本 金 13億6,768万7,500円  
従 業 員 数 1,223名(連結)、769名(単体)  
本店所在地 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号  
TEL:03(3988)2020(代表)

## 役員構成

|          |   |   |   |    |
|----------|---|---|---|----|
| 代表取締役会長  | 横 | 山 | 三 | 雄  |
| 代表取締役社長  | 宮 | 野 |   | 隆  |
| 取 締 役    | 野 | 津 | 浩 | 生  |
| 取 締 役    | 西 | 川 | 信 | 次  |
| 取 締 役    | 瀧 | 澤 |   | 靖  |
| 取 締 役    | 水 | 上 | 龍 | 太  |
| 取 締 役    | 赤 | 木 |   | 修  |
| 取 締 役    | 土 | 橋 | 眞 | 吾  |
| 取 締 役    | 田 | 中 | 順 | 一  |
| 取 締 役    | 水 | 江 | 司 | 二  |
| 取締役(非常勤) | 安 | 達 | 一 | 彦* |
| 取締役(非常勤) | 川 | 野 | 忠 | 明* |
| 監 査 役    | 菅 | 崎 |   | 悟  |
| 監 査 役    | 北 | 條 | 慎 | 治* |
| 監査役(非常勤) | 三 | 木 |   | 茂* |
| 監査役(非常勤) | 石 | 井 | 泰 | 次* |

\* 社外取締役、社外監査役

## 関係会社の状況

|                |                                                                   |
|----------------|-------------------------------------------------------------------|
| 株式会社フェス        | 資本金 : 6,000万円<br>出資比率 : 100%<br>事業内容 : 情報処理サービス                   |
| 世存信息技术(上海)有限公司 | 資本金 : 6,000万円<br>出資比率 : 100%<br>事業内容 : ソフトウェア開発<br>パッケージ販売        |
| 株式会社アプレッソ      | 資本金 : 2億6,700万円<br>出資比率 : 96.84%<br>事業内容 : ソフトウェアパッケージの開発、販売、サポート |

## 株主メモ

|               |                                                                      |
|---------------|----------------------------------------------------------------------|
| 事業年度          | 4月1日から翌年3月31日まで                                                      |
| 定時株主総会        | 3月31日から3ヶ月以内                                                         |
| 配当金受領株主確定日    | 3月31日及び中間配当を行う場合は<br>9月30日                                           |
| 単 元 株 式 数     | 100株                                                                 |
| 株 主 名 簿 管 理 人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号                                                     |
| 同 事 務 取 扱 場 所 | みずほ信託銀行株式会社                                                          |
| 〔郵便物送付先〕      | 〒168-8507                                                            |
| 〔電話照会先〕       | 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部<br>TEL : 0120-288-324 (フリーダイヤル) |

SAISON  
INFORMATION  
SYSTEMS  
CO.,LTD.

株式会社 セゾン情報システムズ

<http://home.saison.co.jp/>



## 復興特別所得税に関するご案内

「復興財源確保法」(略称)の施行により、配当等に係る所得税に対し、2013年1月1日から2037年12月末まで、復興特別所得税として所得税額×2.1%が追加課税されることとなりますのでお知らせいたします。

|         | 2013年1月1日～<br>2013年12月31日 | 2014年1月1日～<br>2037年12月31日 |
|---------|---------------------------|---------------------------|
| 所得税     | 7%                        | 15% (※)                   |
| 復興特別所得税 | 0.147%                    | 0.315%                    |
| 住民税     | 3%                        | 5% (※)                    |

※2013年12月31日をもって軽減税率の適用終了が予定されております。